

# 令和5年産 元気つくし

5月28日～6月3日 播種 (6月20～25日 田植え) 栽培 暦

北九州普及指導センター  
J A 北 九

月別	5月		6月			7月			8月			9月			10月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	
水管理																	
生育ステージ	<p>5月28日～6月3日頃 <b>播種</b> (1箱当り 150g以下播き)</p> <p>6月20～25日頃 <b>田植</b> (坪当り 60株植え 3～4本植え)</p> <p>有効分けつ終期 (-40日) 穂首分化期 (-30日) 幼穂形成期 (-25日) 減数分裂期 (-15日) 出穂期 (-10日) 穂揃期 (0日) <b>刈取</b> (9/29日頃 成熟期)</p>																
管理のポイント	<p>丈夫な稲体に <b>良食味対策に けい酸加里 40kg</b></p> <p><b>基肥</b> ベスト 444 35kg</p> <p>田植 深植防止 <b>補植苗の除去</b></p> <p>除草剤施用 <b>良食味対策に けい酸加里 20kg</b></p> <p>溝切り 中干し</p> <p><b>穂肥</b> N K 2号 幼穂 3mm 15kg 又は ワンショット追肥 エムコート206 15kg</p> <p><b>最も水が必要な時期!</b></p> <p>アヅミンの投入 40kg 又は 堆肥投入 2t 土壌改良資材施用</p> <p>○土づくり (ヒメトビウンカ対策) ○収穫後早めの耕起 ○落水はなるべく遅く</p>																
病害虫	<p>《栽培注意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 苗丈が長くなりやすいので、緑化後は早めに被覆資材を除去する。</li> <li>☆ 元気つくしはいもち病に弱いので、いもち病の常発地や野菜後等での栽培は避ける。</li> <li>☆ 倒れやすい傾向にあるので、過剰施肥にならないよう注意する。</li> <li>☆ 後半肥料切れに注意。</li> </ul>																
重点防除農薬	<p><b>育苗管理参照</b></p> <p>箱剤 防人箱粒剤</p> <p>初中期一発除草剤</p> <p>※移植後落水・田面の均一化</p> <p>※病斑が確認された場合は防除</p> <p>※発生が無いか圃場確認</p> <p>※野菜後や高温多雨時は注意</p> <p>(飛来多) ※発生パターンにより補正防除</p> <p>必須① 必須②</p> <p>粉剤 粒剤 ヘリ防除 穂揃い期散布剤</p> <p>《防除注意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 稲の開花期防除については、ミツバチへの影響が考えられますので、散布時期にご注意願います。</li> <li>☆ 散布時期 必須①は、出穂前散布 必須②は、穂揃い後期散布</li> <li>※ 開花期直前～開花後2週間は、ミツバチへの影響回避の為、農薬散布をしない!</li> <li>農薬散布時はドリフトに注意する!</li> </ul>																
※ 農薬成分数	④	③	④	②	②	③	③	③	①	①	①	③	③	①	①	①	①